



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

2022年6月30日

国連世界観光機関 (UNWTO) 世界観光指標 (World Tourism Barometer)

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）

及び全文（有償）をご覧いただけます。 <https://www.e-unwto.org/>

制限緩和と信頼回復で、観光回復に勢い

2022年6月3日

マドリッド

観光は力強いペースで回復を続けている。世界において2022年第1四半期に、前年同期比で約3倍の国際観光客到着数を迎え入れ、ヨーロッパが観光セクターの回復を牽引した。

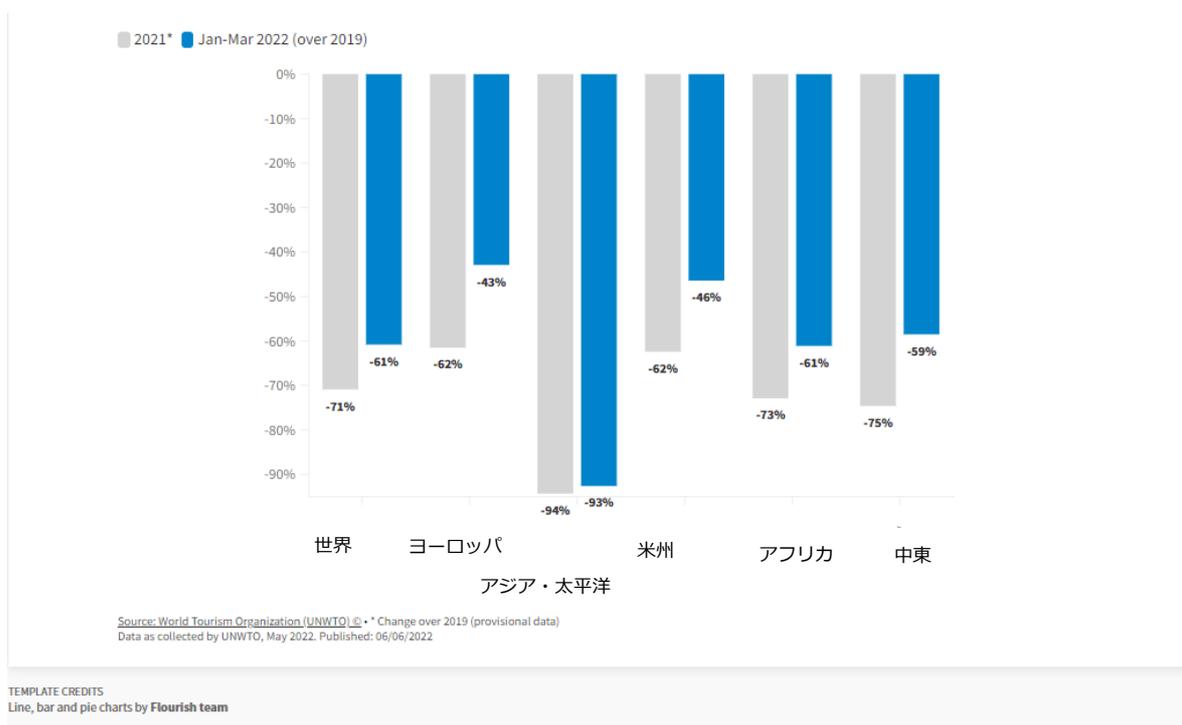
最新の **国連世界観光機関 (UNWTO) 世界観光指標**によると、**2022年1月～3月の国際観光客到着数は前年同期比で182%増となり、4,100万人だった到着数が約1億1,700万人となった。**この3か月において前年比で7,600万人増となり、このうち3月に約4,700万人を記録し、回復の加速が見られた。

ヨーロッパと米州が回復を牽引

UNWTO のデータによると、ヨーロッパは 2022 年第 1 四半期に、地域内の強い需要により、前年同期比で約 4 倍の国際観光客到着数(+280%)となった。米州では、前年同期比で国際観光客到着数が 2 倍以上(+117%)となった。しかし、ヨーロッパと米州の国際観光客到着数は 2019 年比で、依然としてそれぞれ 43%及び 46%下回った。

中東(+132%)及びアフリカ(+96%)においても、国際観光客到着数は 2022 年第 1 四半期に前年同期比で力強い伸びが見られたが、2019 年比で、依然としてそれぞれ 59%及び 61%下回った。アジア・太平洋では前年比で 64%増となったが、いくつかの国・地域において不要な渡航に対して引き続き国境が閉鎖されたために、2019 年比で 93%下回った。

国際観光客到着数(2019 年比)

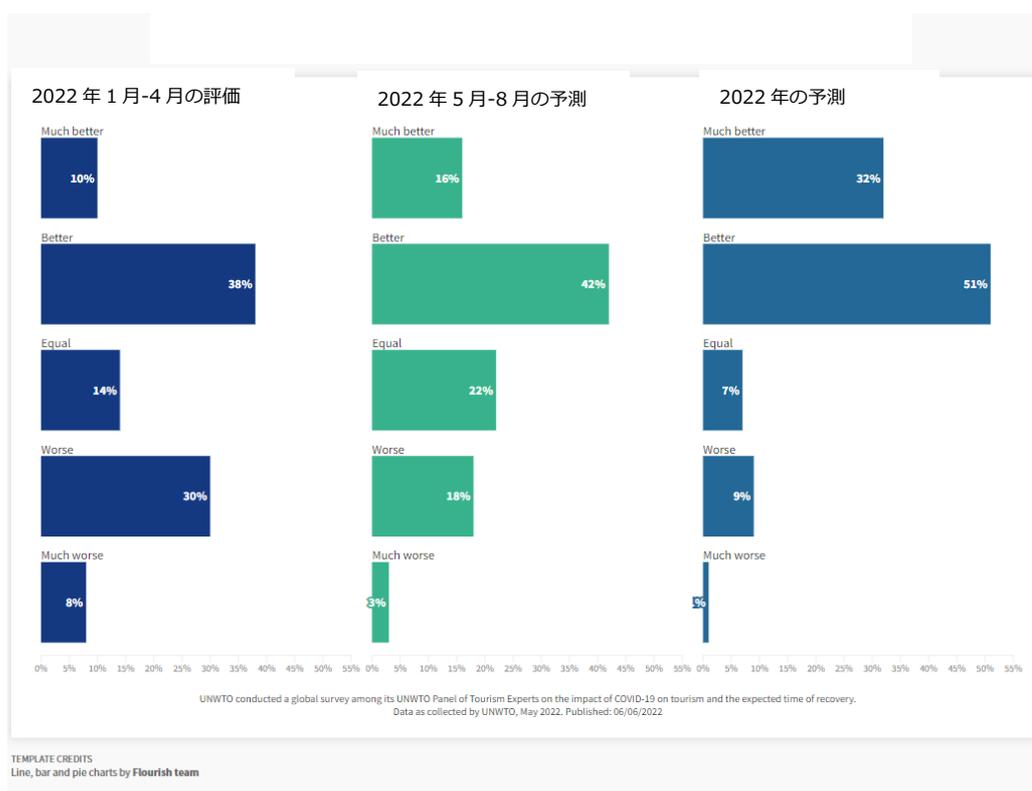


準地域では、カリブ海と南・地中海ヨーロッパで引き続き、最も早い回復率を示した。両準地域において 2019 年比で、国際観光客到着数が約 75%回復し、一部の国・地域ではパンデミック前の水準に達するか、それを超えることもあった。

国・地域が国境を再開

国際観光は2019年比で依然として61%下回っているが、観光を目的とする渡航に対する制限(以下「渡航制限」という。)の緩和や解除をする国・地域が増加し、繰延需要が解放されるため、2022年を通して徐々に回復し続けることが見込まれている。6月2日時点で、45の国・地域(内31の国・地域がヨーロッパ)で、新型コロナウイルス感染症(COVID19)関連の制限が課せられていなかった。アジアでも、益々多くの国・地域で、これらの制限が緩和され始めている。

UNWTO 専門家委員会による観光実績の評価と予測



これらの良好な見込みにも関わらず、経済環境の課題とロシア連邦によるウクライナ軍事侵攻は、国際観光の継続的な回復を妨げるリスクを呈している。ロシア連邦によるウクライナ侵攻により東ヨーロッパの渡航に支障をきたしているが、これまでのところ、全体への直接的影響は限られている様である。しかし、この紛争で世界経済に甚大な影響が及んでおり、すでに原油価格の高騰、全体的なインフレ及び国際サプラ

イチェーンの混乱が深刻になり、結果として、観光セクターにおいて宿泊施設と交通機関の価格が上昇している。

支出増加で輸出収入の回復が加速

最新の UNWTO 世界観光指標では、パンデミックが始まった年に失われた 1 兆米ドルの損失に加え、2021 年の国際観光による輸出収入で更に 1 兆米ドルの損失が報告された。観光輸出収入総額(旅客輸送収入を含む)は、2021 年に約 7,130 億米ドルに達し、2020 年から実質 4%増となったが、2019 年比では依然として 61%下回った。国際観光収入は 6,020 億米ドルに達し、同様に 2020 年比で実質 4%増となった。ヨーロッパと中東では最高の実績を記録し、両地域の収入はパンデミック前の水準の約 50%まで上昇した。

また、1 旅行当たりの支出額が増加しており、2019 年には平均 1,000 米ドルであったのが、2021 年には 1,400 米ドルとなった。

今後も予測以上に堅調な回復

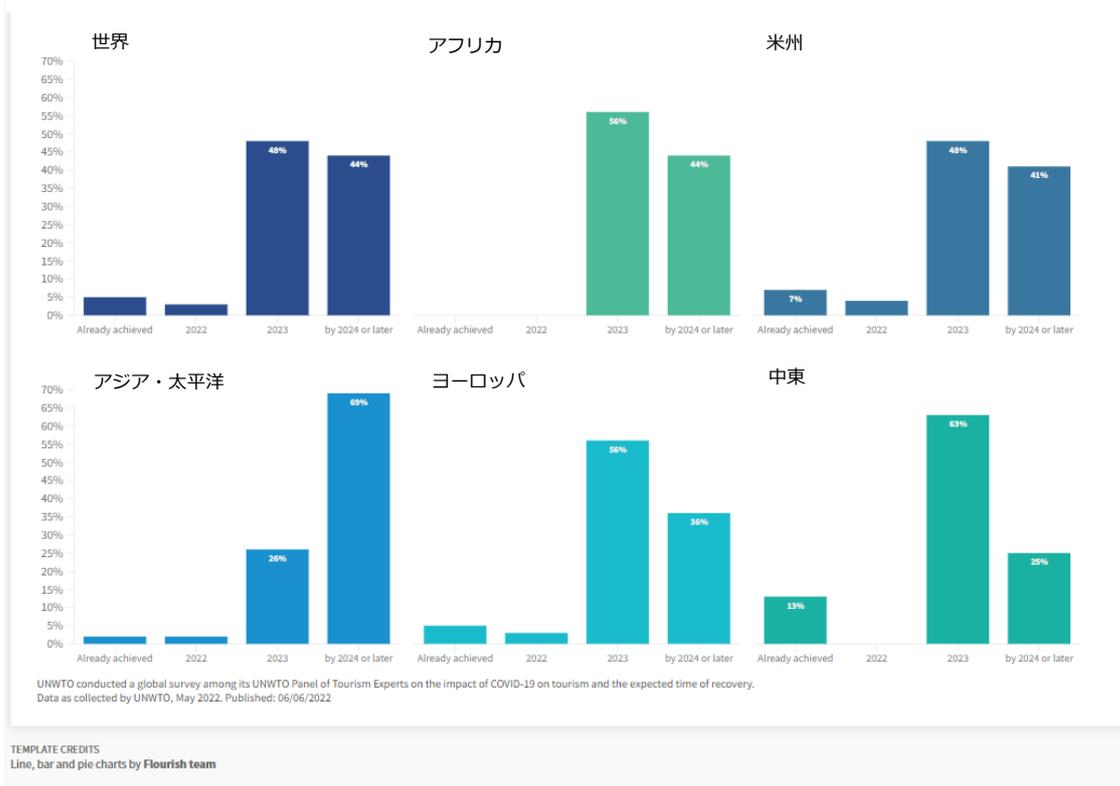
最新の UNWTO 信頼度指数では、顕著な上昇が示された。パンデミックが始まって以来初めて同指標が 2019 年の水準に戻り、特にヨーロッパ地域内渡航と米国からヨーロッパへの渡航における堅調な繰延需要や、世界の観光専門家の間での楽観的な考えが高まっていることを反映している。

最新の UNWTO 専門家委員会の調査によると、観光の専門家の圧倒的過半数(83%)が、ウイルスが封じ込められて、国・地域が渡航制限の緩和や解除をし続ける限り、2022 年は 2021 年に比較して見通しが良くなると見込んでいる。しかし、主にアジア・太平洋の主要なアウトバウンド市場の一部で国境閉鎖が続いていることに加え、ロシア連邦とウクライナの紛争による不確実性により、**国際観光の実質的な回復が遅れる可能性がある。**

国際観光客到着数が 2019 年の水準に戻る可能性について、現在は 48%の専門家が 2023 年になると予測している (1 月の調査では 32%)。2024 年以降に回復すると予

測する割合は 44%で、1 月の調査(64%)より減少した。一方で 4 月末までに、米州、アフリカ、ヨーロッパ、北大西洋及び中東間の国際旅客機の利用率はパンデミック前の水準の約 80%に達したか、それに近い水準となり、需要が追随している。

あなたの国・地域の国際観光がパンデミック前の 2019 年の水準に戻るのいつになると思いますか？



UNWTO は、2022 年第 1 四半期における予測以上の結果、航空券予約の大幅な増加及び UNWTO 信頼度指数を鑑み、2022 年の見込みを修正した。国・地域での渡航制限の解除が進む速度、ウクライナでの戦況、コロナウイルスの新たな変異株発生の可能性及び特にインフレやエネルギー価格といった世界経済情勢を含む状況次第で、2022 年に国際観光客到着数は、2019 年水準の 55%から 70%に達すると現在は見込まれている。

関連リンク

- [世界観光指標 | 2022年5月号抄録](#)



- [UNWTO 観光データダッシュボード](#)



○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」) とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関（UNWTO）について

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所は、UNWTO の地域事務所として、1995年に設立されました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●お問い合わせ先(UNWTO 本部; メディア専用窓口)

E-mail: comm@unwto.org

Tel: (+34) 91 567 8100

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問合せください。

お問い合わせ方法につきご質問がある方は

UNWTO 駐日事務所までご連絡をください。

○一般のお問合せ先

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所

（一般財団法人アジア太平洋観光交流センター）

担当：吉田

電話：0742-30-3880

E-mail: info@unwto-ap.org

ia and the Pacific